

專門医制度更新基準

日本専門医機構による新専門医制度

- 全科統一で平成28年度開始の予定であった
- 平成28年1月より診療実績の証明が必要
- 認定満期がH29年3月～H32年3月の専門医移行措置(従来基準と新基準の並立)で更新
- 70歳以上の特例廃止

認定年度と暫定更新基準

認定年度 24年
認定満期 30年 3月
会員番号
認定番号

平成27年度学術集会参加実績集計

分類	学術集会コード	学術集会名	開催期間		単位	主催
			年月日	年月日		
ア	27701001	第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	27.05.21	27.05.23	40	
	27701011	第60回日本聴覚医学会総会・学術講演会	27.10.21	27.10.23	20	原 晃
イ	27701016	第26回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	28.01.28	28.01.29	20	
	27701003	第41回全国身体障害者福祉医療講習会	27.06.20	27.06.21	15	
ウ	27701005	第40回日耳鼻医事問題セミナー	27.06.27	27.06.28	15	
	27701007	第22回日耳鼻産業・環境保健講習会（騒音性難聴の部）	28.01.28	28.01.29	15	
カ	27708001	第75回日耳鼻茨城県地方部会学術講演会	27.07.05		10	茨城県地方部会 原
	27708002	第76回日耳鼻茨城県地方部会学術講演会	27.10.25		10	茨城県地方部会 原
キ	27708001	平成27年度日耳鼻茨城県地方部会研修会	27.12.06		5	茨城県地方部会 原
	27701013	筑波大学耳鼻咽喉科臨床談話会	27.05.01		5	筑波大学 原 晃
ク	27701026	筑波大学耳鼻咽喉科臨床談話会	27.07.03		5	筑波大学 原 晃
	27701043	筑波大学耳鼻咽喉科臨床談話会	27.09.04		5	筑波大学 原 晃
ケ	27701067	筑波大学臨床談話会	27.11.06		5	筑波大学 原 晃
	27701085	筑波大学臨床談話会	28.01.15		5	筑波大学 原 晃
コ	27701107	筑波大学臨床談話会	28.03.11		5	筑波大学 原 晃
	27701067	第1回耳鳴・難聴研究会	27.07.11		5	

**認定年度24年
認定満期30年3月**

〒
つくば市
耳鼻咽喉科

様

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 専門医制度委員会
〒108-0074 東京都港区高輪3-25-22
03(3443)3085・3086

認定年度 24年 会員番号
認定満期 30年 3月 会員氏名

様

*ア 日耳鼻総会・学術講演会または専門医講習会
(認定更新の為に、更新手続きが平成27年度の専門医は、5年間に
平成28年度からは、5年間に1回以上の出席が必要となります。)

年度毎参加実績一覧

年度	*ア		イ		ウ		エ		オ		カ		キ		ク		ケ		コ		その他
	回数	単位	回数	単位	回数	単位	回数	単位	回数	単位	回数	単位	回数	単位	回数	単位	回数	単位	回数	単位	
25	2	80	2	40	1	15	0	0	0	0	2	20	1	5	0	0	6	30	5	25	
26	2	80	2	40	1	15	0	0	0	0	2	20	1	5	0	0	6	30	3	15	
27	1	50	1	50	1	15	0	0	0	0	2	20	1	5	0	0	6	30	1	5	

27 ここまでが従来基準 年間50単位

28 ここからが新基準 (この場合、2年分)

新基準の項目

1. 診療実績の証明: 5年間で200症例以上: **10単位**

2. 専門医共通講習: **最小5単位**、最大10単位

必修は: 安全、感染、倫理

その他: 指導医、保険医療、臨床試験、医療事故、

医療法規、医療経済、日医生涯教育制度認定講習

3. 耳鼻咽喉科領域講習: **最小20単位**、上限なし

4. 学術業績: 最小0単位、最大10単位

合計50単位

診療実績の証明

- 1週当たり、1例相当の計算
- 年間40症例(=2単位)
- 耳・鼻・口腔咽頭・頭頸部 の4領域に分類
診察日、ID、性、年齢、病名、内容、転帰
1例毎に施設責任者の氏名・印が必要
4領域の分類も記載、それぞれ10例以上

診療実績の証明

	診療日時	患者ID	性	年齢	病名分類	病名	検査 (聴力検査、平衡機能検査、 内視鏡検査)	処置 (耳処置、鼻処置、そ の他)
例	2015/4/15	1234	男	8	耳	滲出性中耳炎	標準純音聴力検査	
例	2015/4/22	1256	女	25	口腔咽喉頭	声帯ポリープ	喉頭ファイバースコープ	喉頭ネブライザー
1								

所見	手術 (有、 無)	治療法 (投薬、処置、 手術)	転帰 (治癒、軽快、転 院)	診療施設名	責任者氏名 (印)
鼓膜陥凹と中耳貯留液	有	投薬、鼓膜切開	治癒	日耳鼻大学	日耳鼻太郎 印
声帯浮腫とポリープ	無	投薬	軽快	日耳鼻大学	日耳鼻太郎 印

専門医共通講習（最小5、最大10）

- 1時間の講習受講で1単位と算定
- 他の診療科が主催する講習会でもOK
- 営利団体が主催または共催するセミナーは原則だめ
- 必修：医療安全、感染対策、医療倫理
5年間にそれぞれ1単位以上
移行期間は3年目から必須3つ全て必要
- 2015年12月の地方部会研修会の医療安全講習は委員会で認定審査中

耳鼻咽喉科領域講習(最小20単位)

- 日耳鼻総会の講習(上限4単位)
(一般演題やシンポは該当しない)
- 専門医講習会(上限4単位+実技上限4単位)
- 産業環境保健講習会・身体障害者福祉医療講習会・補聴器適合判定医師研修会・嚥下講習会など
- 関連学会や地方部会主催の講習会など
- その他、認定されたセミナー
(来年開催の医事問題セミナー:2単位)

学術業績(0~10単位)

- 総会・関連学会参加:2単位
- 地方部会学術講演会参加:1単位
- 臨床談話会参加:0.5単位

認定は上記の合計で3単位まで

- 地方部会の演者、第2発表者:1単位
- 司会、座長:1単位
- 筆頭著者:2単位、共著者:1単位

総会および専門医講習会を必修とする
いずれかに5年間で1回以上出席

H28.3月変更

地方部会主催の認定講習

- 秋の地方会の特別講演：受講証
領域講習 1単位
- 研修会の耳鼻咽喉科領域のテーマ：受講証
領域講習 1単位
- 研修会の共通講習のテーマ：受講証
共通講習 1単位
- 春・秋の地方会の参加：従来の参加票提出
学術業績 1単位（上限3単位まで）
- その他

未確定事項

- 2017年3月更新については当科は予定通り、新専門医制度認定基準を含めて行われる。
(従来基準4年分 + 新基準1年分)
- 新専攻医の募集については、学会認定の専門研修プログラムに沿って、日耳鼻学会主導で行われる見込み。

これらは、まだ決定ではない。(2016.6.26現在)